

## 社団法人 電気学会

## 平成 14 年度事業報告

(自平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)

## 概要

我が国経済は、不良債権処理や構造改革を進めるも効を奏さず、デフレ・スパイラルからの脱出もままならず低迷している。また電機関連の産業界も国内需要の低迷や国際市場での競争激化の中で、苦しい経営環境にさらされている。

この様な経済情勢の下、電気学会としてはその目的である、電気の利用に係わる技術の研究・開発および普及、研究者および技術者に対する交流の場の提供により、電気に関する学術の振興と発展を図ることを改めて強く認識し、国際競争力の源泉となろう日本の高度技術の情報発信を通じて国内外への貢献を図ってきた。

特に平成 14 年度は、学会内部で基本的な「論文誌電子ジャーナル化の条件整備」、「IT 活用による会員サービス向上」、「部門別予算配賦制度の合理化」、「事務業務の効率化」などを推進する一方、電気・情報関連 5 学会として、次の通り 2 大テーマに関する協力推進策の提案を取り纏めた。

①「アンプレラー型機構の在り方に関する検討タスクフォース」からの提案としては「連絡協議会」を設置する。

②「国際的情報発信源の可能性検討タスクフォース」からの提案としては「共通電子ジャーナルの発行」の FS を実施する。

平成 14 年度の事業活動実績は以下の通りである。

## 1. 学会活動活性化のための諸施策推進

- 1) 国際情報発信の機能を強化するため、学会ホームページ上における英文版コンテンツ“English Version”の本部、部門およびその他技術情報などの内容充実を行った。
- 2) 国際活動委員会の活動により ICEE などの国際会議開催を支援するとともに、米国 IEEE/PES と B (電力・エネルギー) 部門間で「協力協定書」を締結するなど、海外電気系学会との協力関係を拡大すると共に活動推進具体策の実施計画も取り決めた。
- 3) 論文誌の SCI (Science Citation Index) 登録を目指し条件整備を推進してきた結果、平成 14 年 12 月に登録申請先の米国 ISI (Institute for Scientific Information) 社へ論文誌 4 誌の登録申請書を提出した。尚、登録にあたり論文誌の英文名称を明確化し、デザインも一新した。
- 4) 平成 14 年 2 月に電気・情報関連 5 学会会長間で合意した協力関係の強化方針に則り、2 件の課題検討を実施するために設置した「タスクフォース」に参加し、上記の「概要」に示した通りの各答申案を取り纏めた。
- 5) 「日本技術者教育認定機構 (JABEE)」が推進する「高等教育機関認定審査事業」へ積極的に参加し今年度は「本格審査」を 2 校に対して実施した。尚、審査に当っては「電気・電子・情報通信および関連分野」として関連する他学会との連携体制を構築して審査基準の調整確認をしながら実施した。
- 6) 経済産業省から受託した「環境技術の将来展望に関する検討」は、全部門が参加した「環境技術検討委員会」で、各分野の取り組みを体系的に取り纏め、結果を全国大会シンポジウムで発表した。
- 7) 学会ステータスの向上のため、メディアを利用して一般向けに電気学会とその活動内容を紹介するなど、情報発信・広報活動を精力的に働きかけた結果、全国大で業界

新聞などで採り上げて貰うことができた。

## 2. 学会組織・運営基盤の改善と強化

- 1) 会員サービス向上の観点から、学会ホームページの機能拡充を図る為、会員へのメールアドレス付与とメンバーリストの活用による会員別情報提供、論文査読状況公開システムの整備などを進めた他、Web 上からの入金徴収や論文有料配布などを志向した「課金システム導入検討」を開始するなど、IT を活用した各種業務改善を推進した。
- 2) 部門収支制度は、平成 11 年度の本格導入以来、部分的な制度改善などを経て各部門の収支改善や独立運営に成果を得ており、一定の定着化が図られている。今年度は、これまでの成果を踏まえつつも、収支の健全性維持や部門独立運営促進の観点から予算配賦および運用の制度についてケーススタディを実施するなど、より効率的かつ合理的な制度を取り纏めマニュアル化を実施した。
- 3) 各種学会活動は会員のボランティア活動に拠っていることを改めて認識し、永く学会貢献に携わった会員を登用する新たな「上級会員 (シニアメンバー)」の制度設計を実施し、平成 15 年度から実施を開始することとした。
- 4) 大会運営基盤の改善のため、「全国大会」や「IEEE/PES T & D 国際会議」などにおける併設展示会の実施や、JABEE 教育認定用審査員養成のための「研修会」などを積極的に企画開催し、収支改善のための基盤造りに貢献した。
- 5) 本学会が発行する教科書など図書類の改訂・刷新および販売促進策を審議し運用管理する「出版事業委員会」は、今年度、委員長以下相当数の委員交替を行うと共に、構成委員の拡充を図った。その他、教科書の販売促進に関しては、ボランティア参加の販売促進員と出版販売課職員による全国大の市場調査を兼ねた販売促進キャンペーンを展開した。
- 6) 平成 13 年度に立ち上げた「教科書新シリーズ共同出版事業 (オーム社運営)」については編集幹事会を 4 回開催し、優先発行書目約 10 冊を選定し平成 15 年度から発行開始するための企画案を取り纏めた。
- 7) 「部門誌の電子ジャーナル化検討特別委員会」では、電子ジャーナル化に対する基本方針を取り纏め、平成 15 年度から A, E 論文誌を科学技術振興事業団が提供する「J-Stage (科学技術情報発信・流通総合システム)」に試行的に掲載する諸作業を完了した。
- 8) 国際標準化の進展、電気技術分野の拡大・発展、標準化事業に対する環境の変化を考慮して、標準化事業の取り組むべき分野を再整理し、学会としての支援方策基本案を取り纏め実施に移した。
- 9) 「調査理事」を「研究経理事」、 「総務理事」を「総務企画理事」と改称した。部門・支部の該当役員名称もこれに準じて改称した。

## 3. 社会への貢献と電気技術への理解活動の推進

- 1) 一般向けホームページに、会員有志のボランティア活動に期待した電気技術一般に関する質疑応答の場の提供 (双方向会員サービス「掲示板 (一般用)」の適用による) の運用を開始した。

- 2) 一般社会人や小中学生を対象とした、資源、環境など多面的な電気技術の理解を深めるためのイベントやセミナーを継続して開催した。また若年層向け「科学技術振興」活動に実績を有する「財団法人日本科学技術振興財団」(北の丸公園「科学技術館」内)との業務提携の検討を開始した。
- 3) 一般社会人向けとして、「原子力発電の工学的安全性」に関する公開討論会を開催するなど、幅広く電気技術の現状から最先端の技術情報までを発信する啓発活動を実

- 4) 技術者の社会的地位向上の観点から、継続教育(CPD, Continuing Professional Development)支援システムの構築を目指し、平成15年度から第一ステップとして「講習会」や「大会」等の「技術会合」への参加者に対する「受講記録登録管理(自己申告ベース)サービス」の開始を決定した。この必要性の背景にある「社団法人日本技術士会」との間で相互連携のための覚書を3月6日付で締結した。

4. 会員

(1) 会員の異動

項目	名誉員	正員	准員	学生員	合計
期末現在	38	22,876	266	2,667	25,847

(2) 事業維持員の異動

	社数	口数
期末現在	517	3,512

(3) 期末支部別会員数

	名誉員	正員	准員	学生員	合計
北海道支部	0	412	5	74	491
東北 "	2	950	8	110	1,070
東京 "	23	11,809	95	1,082	13,009
東海 "	4	3,170	54	454	3,682
北陸 "	0	537	11	66	614
関西 "	6	3,457	41	295	3,799
中国 "	1	781	24	150	956
四国 "	0	394	17	90	501
九州 "	2	1,366	11	346	1,725
合計	38	22,876	266	2,667	25,847

(4) 期末部門別会員数(登録数)

	名誉員	正員	准員	学生員	合計
A部門	6	3,489	50	537	4,082
B部門	18	9,480	110	812	10,420
C部門	6	4,897	58	565	5,526
D部門	2	5,769	58	760	6,589
E準部門	1	1,388	14	180	1,583
合計	33	25,023	290	2,854	28,200

5. 国際活動

(1) 国際会議開催実績一覧表

平成14年度に電気学会主催で開催した国際会議は以下の通りである。

国際会議名	開催場所・期間	開催概要
2002年電力変換国際会議(PCC-Osaka 2002)	大阪国際会議場(大阪) 2002.4.2~4.5	発表件数: 257件 (内、日本から158件) 大会参加者数: 436名 (内、海外から117名)
The International Conference on Electrical Engineering 2002 (ICEE 2002)	済州島(韓国) 2002.7.7~7.11	発表件数: 563件 (内、日本から140名) 大会参加者数: 549名 (内、日本から151名)
IEEE/PES Transmission and Distribution Conference and Exhibition 2002: Asia Pacific (T & D 2002: Asia Pacific)	パシフィコ横浜(横浜) 2002.10.6~10	発表件数: 320件 (内、日本から140名) 大会参加者数: 800名 (内、海外から240名) 展示会: 5,000名

第24回ドライブロセス国際シンポジウム(DPS 2002)	東京大学農学部 弥生講堂(東京) 2002.10.10~11	発表件数: 50件 大会参加者数: 230名 (内、海外から7名)
The Sixteenth Annual Conference on Micro Electro Mechanical Systems (MEMS-03)	京都国際会館(京都) 2003.1.19~23	発表件数: 173件 大会参加者数: 664名 (内、海外から210名)
The International Workshop on High Voltage Engineering (IWHV)	九州大学(福岡) 2003.1.23~24	発表件数: 57件 大会参加者数: 126名 (内、海外から18名)

(2) 助成

- ①外国研究者の招聘助成 3名
- ②国際会議への出席助成 7名

6. 学術振興助成

学術振興基金を原資とする学術振興活動に対する助成を次の通り行った。

- (1) 平成14年大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰

大会ならびに研究会	件数
全国大会	40
部門大会	25
研究会	53
支部連合大会	83
合計	201

7. 学会誌・部門誌

(1) 学会誌

学会誌の総ページ数は1,110ページで、前年度より54ページの減少であった。また、発行部数は345,165部で、前年度より19,250部の増加であった。

(2) 論文誌(部門誌)

平成15年1月号から、論文誌の英文名称を次のように変更し、書名を見ただけで区別ができるようにした。

- ・論文誌A(A部門誌) IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials
- ・論文誌B(B部門誌) IEEJ Transactions on Power and Energy
- ・論文誌C(C部門誌) IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems
- ・論文誌D(D部門誌) IEEJ Transactions on Industry Applications
- ・論文誌E(E準部門誌) IEEJ Transac-

tions on Sensors and Micromachines  
なお、論文誌(部門誌)の総ページ数は6,718ページで前年度より344ページの減少であった。

・部門誌の内容とページ数

部門誌	内容	論文・研究開発レター	解説・部門記事	その他	広告	合計	発行部数
論文誌A		893	145.5	37.5	10	1,086	63,800
論文誌B		1,257	191.5	51.5	0	1,500	136,035
論文誌C		2,127	172	55	6	2,360	77,035
論文誌D		1,037	142	34	1	1,214	90,380
論文誌E		340	120.5	42.5	55	558	28,050
合計		5,654	771.5	220.5	72	6,718	395,300

注:「その他」は、表紙、広告などである。

8. 研究調査活動

(1) 専門委員会の数(新設・解散・継続中)

部門	新設	解散	継続中
A部門	14	12	20
B部門	12	15	15
C部門	16	11	14
D部門	30	23	18
E準部門	2	6	3
合計	74	67	70

(2) 研究会

平成14年度における研究会の開催回数は200回、発表論文数は3,203件、資料予約者数は4,995件であった。

- (3) 本会および技術委員会等主催による技術会合 13件

9. 出版

(1) 教科書

- ① 新刊: 5点, 15,000部
- ② 重版: 29点, 27,800部

(2) 技術報告

- ① 新刊発行: 48点, 21,700部
- ② 重版発行: 12点, 2,960部

(3) 技術報告単行本(委託出版)

- ①発行: 4点, 5,606部
- ②重版発行: 5点, 2,800部

- (4) 電気規格調査会標準規格(委託出版) 発行点数: 4点, 4,800部

10. 支部活動

項目	北海道	東北	東京	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
支部連合大会	1	1		1	1	1	1	1	1	8
連合研究会	1		1						5	7
講演会	12	12		4	10	3	10	6	14	71
地区講演会		8	20							28
若手セミナー				29	1					30
学生向け講演会				9		19			1	29
高校生基礎講座										0
講習会	1		13	2	1	3	3			23
見学会	1	1	31	2	1	1	2			39
学生向け見学会	3					2				5
市民公開講座		1	2	1	1					5
地区研究発表会		1	5							6
高専卒業研究発表会					1	1				2
学生研究発表会					1					1
支部シンポジウム										0
サイエンスボランティア			1							1
その他			23							23
計	19	24	96	48	17	30	16	7	21	278

11. 大会, その他

平成14年度における電気学会主催の大会は以下の通りである。

大会名	開催場所	発表件数
全国大会	東北学院大学 3月17日～19日	一般講演: 1,538件 シンポジウム: 167件
A部門(基礎・材料・共通部門)大会	武蔵工業大学 9月11日～13日	一般講演: 227件 シンポジウム: 4件 見学会: 9月11日
B部門(電力・エネルギー部門)大会	福井大学 8月7日～9日	480件
C部門(電子・情報・システム部門)大会	慶應義塾大学 9月2日～3日	291件
D部門(産業応用部門)大会	鹿児島大学 8月21日～23日	525件
E準部門(センサ・マイクロマシン準部門)総合研究会	早稲田大学 11月27日～28日	62件
北海道支部連合大会	北見工業大学 10月12日～13日	一般講演: 334件
東北支部連合大会	山形大学 8月27日～28日	一般講演: 347件
東京支部連合研究会	早稲田大学 9月10日～11日	一般講演: 87件
東海支部連合大会	大同工業大学 9月19日～20日	一般講演: 680件 シンポジウム: 35件
北陸支部連合大会	福井大学 9月18日～19日	一般講演: 392件 シンポジウム: 9件
関西支部連合大会	近畿大学 11月9日～10日	一般講演: 402件 シンポジウム: 70件
中国支部連合大会	島根大学 10月19日～20日	一般講演: 458件
四国支部連合大会	詫間電波高専 10月5日	一般講演: 353件
九州支部連合大会	長崎大学 9月26日～27日	一般講演: 678件

12. 電気規格調査会

- (1) 委員会の新設 2件
- (2) 委員会の解散 1件
- (3) 平成14年度のJIS制定・改訂委員会(受託委員会) 2件

- (4) JEC規格および電気専門用語集の制定・改訂, 廃止および確認
  - [制定] 2件
  - [改訂] 3件
  - [廃止] なし
  - [確認] なし

- (5) 調査を完了した項目 3件
- (6) 調査中の項目 26件
- (7) JIS等の原案作成(受託) 2件
- (8) 外部機関作成JIS等の原案審議 なし

- (9) JIS等の調査 2件
- (10) IEC活動状況

電気学会が担当しているIEC国内委員会の数は、TCが29、SCが16である。これらの委員会の平成14年度の到着文書数は延べ3,703、回答文書数は281であった。また出席した国際会議の数は68、出席者は延べ138名であった。

13. 会合数

通常総会1回、評議員会1回、理事会6回、常任理事会4回、企画会議5回、会計会議5回、編修会議3回、調査会議5回、その他1689回であった。

14. 平成15年度役員

平成15年5月の通常総会で退任および新規役員は次の通りである。

(1) 本部役員

[平成14年度退任役員]

- 会 長: 種市 健(パワードコム)
- 会長代理: 深尾 正(武蔵工大)
- 副 会 長
  - (総務企画): 村本 裕(東京電力)
  - (会 計): 八木 誠(関西電力)
  - (編 修): 原 雅則(九州大)
  - (研究経営): 鈴木 浩(ゼネラル・エレクトリック・インターナショナル・インク)
- 総務企画理事: 河合三千夫(ティーエム・ティーアンドディ)

- 会計理事: 城後 讓(中部電力)
- 編修理事: 大久保 仁(名古屋大)
- 研究経理事: 仁田且三(東京大)
- 監 事: 大石雅章(明電舎)

[平成15年度新規役員]

定款細則に基づき昇格, 重任および改選された方は, アンダーラインで示す。

- 会 長: 深尾 正(武蔵工大)
- 会長代理: 川村 隆(日立)
- 副 会 長
  - (総務企画): 河合三千夫(ティーエム・ティーアンドディ)
  - (会 計): 城後 讓(中部電力)
  - (編 修): 大久保 仁(名古屋大)
  - (研究経営): 仁田且三(東京大)
- 専務理事: 村岡泰夫(電気学会)
- 総務企画理事: 鈴木登夫(日立)
- 会計理事: 生駒昌夫(関西電力)
- 編修理事: 雨谷昭弘(同志社大)

研究経営理事：尾形仁士(三菱電機)

監 事：藤原靖隆(昭和電線)

同 事：平塚強一(九州電力)

A部門長：酒井洋輔(北海道大)

B部門長：林 敏之(東北大)

C部門長：大松 繁(大阪府立大)

D部門長：四元勝一(NTT 建築総合  
研究所)

北海道支部長：山城 迪(北見工大)

東北支部長：室田淳一(東北大)

東京支部長：尾崎康夫(ティーエム・  
ティーアンドディー)

東海支部長：清水眞男(中部電力)

北陸支部長：松波孝之(北陸電力)

関西支部長：阿部 健(関西電力)

中国支部長：副井 裕(鳥取大)

四国支部長：青野正明(愛媛大)

九州支部長：二宮 保(九州大)

(2) 部門および支部役員

平成15年度改選された方は、アンダー  
ラインで示す。また、支部役員で\*印  
は支部長推薦の支部協議員、△印は支所  
長を示す。

◎部門役員

A部門

部 門 長：酒井洋輔(北海道大)

副部門長：大木義路(早稲田大)

同 事：木村 健(九州工大)

総務企画担当：小野 茂(武蔵工大)

同 事：新藤孝敏(電力中研)

会計担当：坂本広明(新日鐵)

同 事：野田悦夫(東 芝)

編修担当：匹田政幸(九州工大)

同 事：平野洋一(産 総 研)

研究経営担当：藤井治久(三菱電機)

同 事：長尾雅行(豊橋技科大)

監 事：八井 浄(長岡技科大)

同 事：石井弘允(日本大)

B部門

部 門 長：林 敏之(電力中研)

副部門長：森本祥一(東京電力)

同 事：瓜生芳久(成 蹊 大)

総務企画担当：村山康文(東 芝)

同 事：小林昌三(日 立)

会計担当：長谷川 豊(中部電力)

同 事：土井 淳(三菱電機)

編修担当：太田敏隆(産 総 研)

同 事：松村年郎(名古屋大)

研究経営担当：石山敦士(早稲田大)

同 事：植木芳照(富士電機)

監 事：磯嶋茂樹(住友電工)

同 事：野田正信(関西電力)

C部門

部 門 長：大松 繁(大阪府立大)

副部門長：白井和彦(ネットマークス)

同 事：宮崎道雄(関東学院大)

総務企画担当：安部保範(東京電力)

同 事：伊藤 隆(富士通研究所)

会計担当：長田典子(三菱電機)

同 事：佐々木敏郎(日 立)

編修担当：芹澤善積(電力中研)

同 事：小坪成一(千葉大)

研究経営担当：宮島康行(東 芝)

同 事：吉江 修(早稲田大)

監 事：畠内孝明(富士電機)

同 事：手塚哲央(京 都 大)

D部門

部 門 長：四元勝一(NTT 建築総研)

副部門長：石川忠夫(電力中研)

同 事：堀 洋一(東京大)

総務企画担当：松井幹彦(東京工芸大)

同 事：藤原俊輔(東海旅客鉄道)

会計担当：大熊 繁(名古屋大)

同 事：玉井伸三(三菱電機)

編修担当：清水敏久(東京都立大)

同 事：海田英俊(富士電機総研)

研究経営担当：齋藤涼夫(東 芝)

同 事：小山 純(長 崎 大)

監 事：高橋身佳(日 立)

同 事：一ノ倉 理(東北大)

E準部門

準部門長：江刺正喜(東北大)

副準部門長：杉山 進(立命館大)

同 事：木股雅章(三菱電機)

総務企画担当：片山 誠(住友電工)

同 事：服部 正(姫路工大)

会計担当：植田敏嗣(早稲田大)

同 事：佐藤一雄(名古屋大)

編修担当：古田土節夫(東海大)

同 事：内川義則(東京電機大)

研究経営担当：桑野博喜(東北大)

同 事：安藤 繁(東京大)

監 事：池田恭一(東京農工大)

同 事：奥山雅則(大阪大)

◎支部役員

北海道支部

支 部 長：山城 迪(北見工大)

総務企画幹事：会田恒也(北海道電力)

同 事：五十嵐 一(北海道大)

会計幹事：阿部幹司(北海道電力)

同 事：北 裕幸(北海道大)

協議員：及川奉之(北海道工大)

同 事：鈴木好夫(室蘭工大)

同 事：長谷川博一(苫小牧高専)

同 事：幅口堅二(北海道旅客鉄道)

同 事：若杉 守(札幌市)

同 事：伊藤雄三(北海道大)

同 事：佐坂晋二(新日鐵)

同 事：先名康治(王子製紙)

同 事：谷藤忠敏(北見工大)

同 事：矢島泰司(北海道電力)

東北支部

支 部 長：室田淳一(東北大)

総務企画幹事：安藤 晃(東北大)

同 事：大澤博行(東北電力)

会計幹事：安孫子堅二(東北電力)

同 事：松本 泰(東北大)

協議員：△大平磨一(日本大)

同 事：木村光照(東北学院大)

同 事：櫛引淳一(東北大)

同 事：△山田 弘(岩手大)

同 事：山脇公雄(東北工大)

同 事：横山 晃(東北電力)

同 事：\*谷口正成(東北文化学園  
大)

同 事：\*前川文章(東北電力)

同 事：伊澤利和(東日本旅客鉄道)

同 事：遠藤哲郎(東北大)

同 事：△佐藤 忠(秋田大)

同 事：野原昭光(ユアテック)

同 事：△松下浩一(山形大)

同 事：△横地弓夫(八戸工大)

東京支部

支 部 長：尾崎康夫(ティーエム・テ  
ィーアンドディー)

総務企画幹事：武部俊郎(東京電力)

同 事：林 秀樹(ティーエム・テ  
ィーアンドディー)

会計幹事：谷口治人(電力中研)

同 事：山極時生(日本エーイーパ  
ワーシステムズ)

協議員：△石川赴夫(群馬大)

同 事：△泉 隆(日本大)

同 事：大石祐司(東京電力)

同 事：大崎博之(東京大)

同 事：大澤藤夫(電源開発)

同 事：△岡本幸雄(東洋大)

同 事：△金子文隆(湘南工科大)

同 事：栢森 涉(三菱電機)

同 事：木村人司(古河電工)

同 事：小林 幹(工学院大)

同 事：△斉藤幸典(山梨大)

同 事：澤田克仁(富士通)

同 事：△柴崎一郎(旭化成)

同 事：△鈴木光政(宇都宮大)

同 事：田中哲司(明電舎)

同 事：田中照夫(東京電機大)

同 事：中川真一(東 芝)

同 事：中道好信(鉄道総合技研)

同 事：△奈良宏一(茨城大)

同 事：堀岡一彦(東京工大)

同 事：三浦 功(フジクラ)

同 事：三木一郎(明治大)

同 事：名井 健(東京電力)

同 事：八木裕治郎(富士電機)

同 事：八島政史(電力中研)

同 事：\*安田恵一郎(東京都立大)

同 事：△八井 浄(長岡技科大)

同 事：米山泰章(新日鐵)

同 事：吉栖立格(日 立)

同 事：若尾真治(早稲田大)

東海支部

支 部 長：清水眞男(中部電力)

総務企画幹事：滝波直樹(中部電力)

同 : 早川直樹(名古屋大)  
 会計幹事: 森 竜雄(名古屋大)  
 同 : 森田良文(名古屋工大)  
 協議員: 生田 始(高岳製作所)  
 同 : 後藤泰之(愛知工大)  
 同 : 田中義則(東 芝)  
 同 : 永津雅章(静岡大)  
 同 : 名倉 徹(日本ガイシ)  
 同 : 広瀬健二(三菱電機)  
 同 : 藤綱正己(デンソー)  
 同 : 松村年郎(名古屋大)  
 同 : 石田宗秋(三重大)  
 同 : 稲熊幸雄(豊田中研)  
 同 : 井上堅治(神鋼電機)  
 同 : 大野英之(名城大)  
 同 : 恩田和夫(豊橋技科大)  
 同 : 佐々木賢次(中部電力)  
 同 : 関谷昌久(大同工大)  
 同 : 高木伸之(岐阜大)  
 同 : 水野幸男(名古屋工大)  
 同 : 山添 勝(富士電機)  
 同 : 吉田 覚(愛知電機)  
 同 : 脇若弘之(信州大)

北陸支部

支部長: 松波孝之(北陸電力)  
 総務企画幹事: 南 博之(北陸電力)  
 同 : 升方勝己(富山大)  
 会計幹事: 大坪 茂(石川高専)  
 同 : 板本直樹(北陸電力)  
 協議員: 梅田勝彦(北陸電力)  
 同 : 小川 勝(富山高専)  
 同 : 新谷邦弘(福井高専)  
 同 : 南保英孝(金沢大)  
 同 : 道上 勉(福井工大)  
 同 : 山本嵩勇(福井大)  
 同 : 明地 剛(北陸電力)  
 同 : 安達正利(富山県立大)  
 同 : 鮎井賢治(富山大)  
 同 : 香林利男(金沢高専)  
 同 : 高田新三(金沢工大)  
 同 : 辻 寛正(関西電力)

関西支部

支部長: 阿部 健(関西電力)  
 総務企画幹事: 安永充宏(関西電力)  
 同 : 尾崎雅則(大阪大)  
 会計幹事: 日下部雅一(関西電力)  
 同 : 石亀篤司(大阪府立大)  
 協議員: 荒木義彦(立命館大)  
 同 : 伊藤峯雄(近畿大)  
 同 : 桑原克仁(近畿日本鉄道)  
 同 : 中村友一(松下電器)  
 同 : 濱田昌司(京都大)  
 同 : 廣瀬正幸(住友電工)  
 同 : 藤原 徹(松下電工)  
 同 : 森本茂雄(大阪府立大)  
 同 : 吉浦昌彦(大阪工大)  
 同 : 米沢 毅(三菱電機)  
 同 : 池田桂造(ダイヘン)

同 : 井上 隆(西日本旅客鉄道)  
 同 : 小澤誠一(神戸大)  
 同 : 加藤利次(同志社大)  
 同 : 金山光一(舞鶴高専)  
 同 : 竹内雅晴(日新電機)  
 同 : 田村邦夫(東 芝)  
 同 : 斗内政吉(大阪大)  
 同 : 西山哲弘(南海電気鉄道)  
 同 : 三浦良隆(関西電力)  
 同 : 安田 陽(関西大)

中国支部

支部長: 副井 裕(鳥取大)  
 総務企画幹事: 田中久夫(中国電力)  
 同 : 永田 武(広島工大)  
 会計幹事: 松岡秀夫(中国電力)  
 同 : 野間 勲(中電アクセス)  
 協議員: 歌谷昌弘(広島国際学院大)  
 同 : 小西亮介(鳥取大)  
 同 : 小林裕以(中国電機製造)  
 同 : 治田慎輔(宇部興産)  
 同 : 築谷隆雄(松江高専)  
 同 : 辻 敏夫(広島大)  
 同 : 石原聖司(近畿大)  
 同 : 船曳繁之(島根大)  
 同 : 三浦邦男(日本エクスラン工業)  
 同 : 村瀬 暁(岡山大)  
 同 : 若佐裕治(山口大)

四国支部

支部長: 青野正明(愛媛大)  
 総務企画幹事: 渡辺健二(愛媛大)  
 同 : 山口順一(香川大)  
 会計幹事: 東山陽一(愛媛大)  
 同 : 荻田耕三(四変テック)  
 協議員: 公森雅俊(四国総研)  
 同 : 坂田 博(愛媛大)  
 同 : 下村直行(徳島大)  
 同 : 竹本義和(住友共同電力)  
 同 : 藤原憲一郎(高知高専)  
 同 : 内田芳則(三菱電機)  
 同 : 河東田隆(高知工科大)  
 同 : 鎌野琢也(徳島大)  
 同 : 川原 央(四国電力)  
 同 : 神野雅文(愛媛大)  
 同 : 矢原二郎(四国電力)

九州支部

支部長: 二宮 保(九州大)  
 総務企画幹事: 川島健児(九州工大)  
 同 : 興 雄司(九州大)  
 会計幹事: 平岡幸生(九州電力)  
 同 : 藤 滋隆(九州電力)  
 協議員: 井上高宏(熊本大)  
 同 : 緒方正嗣(西日本菱重興産)  
 同 : 辻 峰男(長崎大)  
 同 : 中村政俊(佐賀大)  
 同 : 溝口昭次(三菱電機)  
 同 : 森崎隆一(新日鐵)  
 同 : 和田 清(九州大)

同 : 伊藤良三(福岡大)  
 同 : 逸見次郎(崇城大)  
 同 : 大戸基道(安川電機)  
 同 : 金澤誠司(大分大)  
 同 : 近藤 浩(九州工大)  
 同 : 篠原勝次(鹿児島大)  
 同 : 橋本修輔(宮崎大)  
 同 : \*△玉城 直(沖縄電力)  
 同 : \*岩木龍一(熊本電波高専)

(3) 評議員(54名)

平成15年度改選された方は、アンダーラインで示す。

本 部 : 秋月影雄(早稲田大)  
 同 : 太田宏次(中部電力)  
 同 : 鬼頭幸生(名古屋大)  
 同 : 沢 邦彦(富士電機)  
 同 : 鈴木俊男(電力中研)  
 同 : 鈴木敏夫(三菱電機)  
 同 : 高橋一弘(電力中研)  
 同 : 宅間 薫(電力中研)  
 同 : 野嶋 孝(中部電力)  
 同 : 長谷川 淳(北海道大)  
 同 : 正田英介(東京理科大)  
 同 : 百瀬信正(東京電力)  
 A 部門: 荒井賢一(東北大)  
 同 : 川上潤三(日 立)  
 同 : 渋谷義一(芝浦工大)  
 B 部門: 福田輝夫(日本エーイーパ  
 ワーシステムズ)  
 同 : 柳父 悟(東京電機大)  
 同 : 吉岡正幸(東京電力)  
 C 部門: 坪井 昭(電力計算センタ  
 ー)  
 同 : 平田廣則(千葉大)  
 同 : 宮道壽一(宇都宮大)  
 D 部門: 小豆澤照男(神戸商船大)  
 同 : 武田洋次(大阪府立大)  
 同 : 林 洋一(青山学院大)  
 北海道支部: 佐藤 孝(北海道工大)  
 同 : 吉川照一(北海道電力)  
 東北支部: 犬竹正明(東北大)  
 同 : 芳賀 昭(東北学院大)  
 東京支部: 石毛克政(関東電気保安協  
 会)  
 同 : 今城尚久(電力中研)  
 東海支部: 松岡良輔(中部大)  
 同 : 勝川裕幸(日本ガイシ)  
 北陸支部: 久和 進(北陸電力)  
 同 : 山田外史(金沢大)  
 関西支部: 秋山哲夫(関西電力)  
 同 : 奥村浩士(京 都 大)  
 中国支部: 藤原耕二(岡山大)  
 同 : 若林真一(広島市立大)  
 四国支部: 白石一雄(四国電力)  
 同 : 白方 祥(愛媛大)  
 九州支部: 辻 輝生(九州工大)  
 同 : 中村謙一(西日本技術開発)  
 事業維持員: 市田行則(東京電力)

- 同 : 岩田善輔(古河電工)
- 同 : 大島壽之(東 芝)
- 同 : 河津響四男(中部電力)
- 同 : 鈴木兼四(住友電工)
- 同 : 鈴木敏夫(三菱電機)
- 同 : 瀬古茂男(明 電 舎)
- 同 : 高井 明(富士電機)
- 同 : 豊島令隆(九州電力)
- 同 : 星 稔(日 立)
- 同 : 前川文章(東北電力)
- 同 : 森 詳介(関西電力)

(4) 2号代議員(43名)

- 北海道支部: 榎本昌利(北海道工大)
- 東北支部: 石岡 修(東北電力)
- 同 : 郭 海蛟(東北大)
- 東京支部: 雨宮尚之(横浜工大)
- 同 : 市村由彦(富士通電装)
- 同 : 加藤幸一(日立電線)
- 同 : 久保田寿夫(明 治 大)
- 同 : 栗原正明(東京電力)
- 同 : 古関隆章(東京大)
- 同 : 小林 幹(工学院大)
- 同 : 庄子習一(早稲田大)
- 同 : 高須和彦(電力中研)
- 同 : 中川茂樹(東京工大)
- 同 : 畑野雅幸(電源開発)
- 同 : 林 正孝(東 芝)
- 同 : 水野健彦(フジクラ)
- 同 : 村上俊之(慶 應 大)
- 同 : 望月幹夫(三菱電機)
- 同 : 山本春生(鉄道総研)
- 同 : 横山智紀(東京電機大)
- 同 : 吉栖立格(日 立)
- 同 : 吉田 高(富士電機)
- 同 : 米山泰章(新日鐵)
- 東海支部: 浅井政一(愛知電機)
- 同 : 大熊 繁(名古屋大)
- 同 : 榊原建樹(豊橋技科大)
- 同 : 高木 勲(中部電力)
- 同 : 高倉秀俊(高岳製作所)
- 同 : 田原徳夫(信州大)
- 北陸支部: 大路貴久(富山大)
- 関西支部: 小串正樹(松下電器)
- 同 : 中村友一(松下電器)
- 同 : 橋新裕一(近畿大)
- 同 : 濱田昌司(京都大)
- 同 : 廣瀬正幸(住友電工)
- 同 : 藤原 徹(松下電工)
- 同 : 米沢 毅(三菱電機)
- 中国支部: 小西亮介(鳥取大)
- 同 : 田中幹也(山口大)
- 四国支部: 真鍋和人(四国電力)
- 九州支部: 谷口弘志(新日鐵)
- 同 : 藤井信男(九州大)
- 同 : 宮内 肇(熊本大)

15. 表彰

平成15年5月16日の第91回通常総会において、次の名誉員、功績賞・業績賞・電気学術振興賞・優秀技術活動賞受賞者に賞状・賞牌を贈呈。なお、電気学術振興賞(進歩賞, 論文賞, 著作賞)の受賞者には別途、財団法人小平記念日立教育振興財団殿より、賞状および賞金が授与される。

- 名誉員 西 政隆(日立プラント建設)
- 同 田中耕一(島津製作所)
- 第41回功績賞 原島文雄(東京電機大)
- 第12回業績賞 渋谷義一(芝浦工大)
- 同 野嶋 孝(中部電力)
- 同 横山 茂(九州大・電力中研)
- 同 坪井 昭(電力計算センター)
- 同 松瀬貢規(明治大)
- 第59回電気学術振興賞
- 進歩賞 桂井 誠(東京大)
- 小野 靖( 〃 )
- 鶴田蘭子( 〃 )
- 同 内田克己(中部電力)
- 宮島和久( 〃 )
- 今 博之(フジクラ)
- 同 熊井俊哉(中部電力)
- 島戸俊明(関西電力)
- 中本哲哉(現:ティーエム・ティーアンドディー, 旧:東芝)
- 杉山 勉(現:ティーエム・ティーアンドディー, 旧:三菱電機)
- 山根雄一郎(日本エーイーパワーシステムズ)
- 同 早川直樹(名古屋大)
- 大久保仁( 〃 )
- 長屋重夫(中部電力)
- 同 星野俊弘(ティーエム・ティーアンドディー)
- 野嶋健一( 〃 )
- 花井正広( 〃 )
- 同 本庄昇一(東京電力)
- 磯嶋茂樹(住友電工)
- 同 藤井憲三(出光興産)
- 山本 透(広島大)
- 同 菅原良孝(関西電力)
- 浅野勝則( 〃 )
- Ranbir Singh (Cree, Inc)
- 論文賞 宅間 董(電力中研)
- 同 天野博之(電力中研)
- 熊野照久( 〃 )
- 井上俊雄( 〃 )
- 谷口治人( 〃 )
- 同 桑江 登(沖縄電力)
- 高原正憲(沖縄新エネ開発)
- 鈴木和夫(日立エンジニアリングサービス)
- 前川 聡( 〃 )

- 後藤益雄(名古屋大)
- 今家宏(日 立)
- 清藤康弘( 〃 )
- 二見基生( 〃 )
- 一瀬雅哉( 〃 )
- 同 内田克己(中部電力)
- 田中 敦(東京電力)
- 品川潤一(昭和電線)
- 稲見正己(エクシム)
- 同 山崎雄二(中部電力)
- Suresh Chand Verma( 〃 )
- 上田 玄( 〃 )
- 小川重明( 〃 )
- 野呂康宏(東 芝)
- 同 田中久弥(広島市立大)
- 井出英人(青山学院大)
- 同 桂誠一郎(慶應義塾大)
- 大西公平( 〃 )
- 同 松本昌大(日 立)
- 嶋田 智( 〃 )
- 村林文夫( 〃 )
- 山田弘道( 〃 )
- 半沢恵二(日立カーエンジニアリング)
- 著作賞
- 嶋田隆一(東京工大)
- 佐藤義久(ティーエム・ティーアンドディー)
- 第6回優秀技術活動賞
- 技術報告賞
- ・SF<sub>6</sub>の地球環境負荷とSF<sub>6</sub>混合・代替ガス絶縁  
次世代送変電機器のガス絶縁方式調査  
専門委員会  
代表者 原 雅則(九州大)
- ・系統脱調・事故波及防止リレー技術  
系統脱調・事故波及防止リレー技術調  
査専門委員会  
代表者 渡邊勝吉(開発電気)
- ・電力系統における常時及び緊急時の負  
荷周波数制御  
電力系統における常時及び緊急時の負  
荷周波数制御調査専門委員会  
代表者 佐々木鉄於(関西電力)
- ・国内外における交流超電導機器技術の  
現状と動向  
交流超電導機器技術調査専門委員会  
代表者 石郷岡猛(成蹊大)
- ・画像伝送システムの現状と将来—電力  
における適用事例—  
電力用画像伝送システム調査専門委員  
会  
代表者 金井義和(東京電力)
- ・大型ディスプレイの将来展望と技術課  
題  
大型ディスプレイ調査専門委員会  
代表者 塚田俊久  
(日立超 LSI エンジニアリング)

- ・パワーエレクトロニクスシステムのシミュレーション技術  
パワーエレクトロニクスシステムのシミュレーション技術協同研究委員会  
代表者 黒江康明 (京都工芸繊維大)
- ・工場電気設備の診断・更新技術  
設備診断更新技術調査専門委員会  
代表者 西村誠介 (横浜国大)

特別賞

- ・国際会議 (IEEE/PES T & D 2002: Asia Pacific (2002年 IEEE/PES アジア・太平洋地域送配電技術国際会議)) 開催の成功  
IEEE/PES T & D 2002: Asia Pacific (2002年 IEEE/PES アジア・太平洋地域送配電技術国際会議) 組織委員会  
代表者 正田英介 (東京理科大)
- グループ著作賞  
・燃料電池の技術

燃料電池発電次世代システム技術調査専門委員会

代表者 堀内長之 (電力テック)

- (注) A部門→基礎・材料・共通部門  
B部門→電力・エネルギー部門  
C部門→電子・情報・システム部門  
D部門→産業応用部門  
E準部門→センサ・マイクロマシン準部門

## 平成 14 年度会計報告

### 収支計算書総括表

平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科 目	総 合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
I 収入の部			
1 会 費 ・ 入 会 金 収 入	330,782,381	330,782,381	0
2 事 業 収 入	552,669,859	547,828,804	4,841,055
3 補 助 金 等 収 入	3,848,560	3,848,560	0
4 雑 収 入	14,483,331	14,483,331	0
5 信 託 預 金 償 還 収 入 他	43,464,376	41,136,161	2,328,215
6 特 定 預 金 取 崩 金 収 入	46,371,537	46,371,537	0
当 期 収 入 合 計 (A)	991,620,044	984,450,774	7,169,270
前 期 繰 越 収 支 差 額 収 入 合 計 (B)	280,354,834	244,894,111	35,460,723
	1,271,974,878	1,229,344,885	42,629,993
II 支出の部			
1 事 業 費	488,598,176	482,445,898	6,152,278
2 管 理 費	396,307,024	396,307,024	0
3 固 定 資 産 取 得 支 出	1,112,788	1,112,788	0
4 特 定 預 金 支 出	88,373,244	88,373,244	0
当 期 支 出 合 計 (C)	974,391,232	968,238,954	6,152,278
収支差額の部			
当 期 収 支 差 額 (A-C)	17,228,812	16,211,820	1,016,992
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B-C)	297,583,646	261,105,931	36,477,715

### 正味財産増減計算書総括表

平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科 目	総合計	一般会計	特別会計	内部取引消去
I 増加の部				
資産増加額	121,637,018	120,620,026	1,016,992	
負債減少額	67,825,969	67,825,969	0	
増加額合計	189,462,987	188,445,995	1,016,992	
II 減少の部				
資産減少額	98,768,705	95,934,118	2,834,587	
負債増加額	25,799,260	25,799,260	0	
減少額合計	124,567,965	121,733,378	2,834,587	
当期正味財産増加額 (△減)	64,895,022	66,712,617	△ 1,817,595	
前期繰越正味財産額	1,498,478,886	509,050,531	989,428,355	
期末正味財産合計額	1,563,373,908	575,763,148	987,610,760	

### 貸借対照表総括表

平成 15 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	総合計	一般会計	特別会計	内部取引消去
I 資産の部				
流動資産	716,089,903	679,612,188	37,459,338	△ 981,623
固定資産	1,291,879,743	340,746,698	951,133,045	
資産合計	2,007,969,646	1,020,358,886	988,592,383	△ 981,623
II 負債の部				
流動負債	284,636,035	284,636,035	981,623	△ 981,623
固定負債	159,959,703	159,959,703	0	
負債合計	444,595,738	444,595,738	981,623	△ 981,623
III 正味財産の部				
正味財産	1,563,373,908	575,763,148	987,610,760	
正味財産合計	1,563,373,908	575,763,148	987,610,760	
負債及び正味財産合計	2,007,969,646	1,020,358,886	988,592,383	△ 981,623

平成14年度一般会計

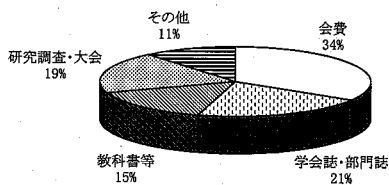
収支計算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

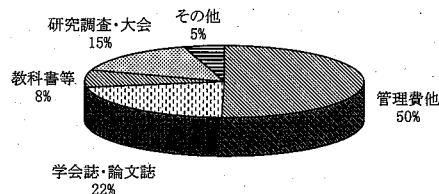
(単位：円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)
<b>I 収入の部</b>			
1 会費・入会金収入	325,772,000	330,782,381	△ 5,010,381
正員会費収入	211,871,000	217,300,196	△ 5,429,196
准員会費収入	702,000	1,127,250	△ 425,250
学生会費収入	6,619,000	7,146,368	△ 527,368
入会金収入	1,220,000	838,800	381,200
維持員会費収入	105,360,000	104,369,767	990,233
2 事業収入	598,330,000	547,828,804	50,501,196
学会誌収入	65,724,000	49,635,210	16,088,790
部門誌収入	164,563,000	155,681,502	8,881,498
図書収入	159,572,000	150,418,614	9,153,386
全国大会収入	41,544,000	39,506,577	2,037,423
部門大会収入	37,475,000	36,529,604	945,396
研究調査収入	114,913,000	99,009,464	15,903,536
セミナー、シンポジウム収入	14,439,000	13,752,607	686,393
その他事業収入	100,000	3,295,226	△ 3,195,226
3 補助金等収入	3,100,000	3,848,560	△ 748,560
民間補助金収入	3,100,000	3,848,560	△ 748,560
4 雑収入	13,660,000	14,483,331	△ 823,331
受取利息	8,000,000	7,347,148	652,852
手数料収入	3,460,000	2,484,000	976,000
その他収入	2,200,000	4,652,183	△ 2,452,183
5 信託預金償還収入他	500,000	41,136,161	△ 40,636,161
信託預金償還収入	500,000	41,136,161	△ 40,636,161
6 特定預金取崩収入	40,000,000	46,371,537	△ 6,371,537
退職給付引等預金取崩収入	40,000,000	46,371,537	△ 6,371,537
当期収入合計(A)	981,362,000	984,450,774	△ 3,088,774
前期繰越収支差額	244,894,111	244,894,111	0
収入合計(B)	1,226,256,111	1,229,344,885	△ 3,088,774
<b>II 支出の部</b>			
1 事業費	527,230,000	482,445,898	44,784,102
学会誌出版費	94,089,000	83,461,351	10,627,649
論文誌出版費	131,805,000	130,280,755	1,524,245
図書出版費	79,989,000	75,450,567	4,538,433
全国大会費	32,052,000	30,449,236	1,602,764
部門大会費	34,147,000	30,407,151	3,739,849
研究調査委員会費	74,819,000	63,579,929	11,239,071
セミナー、シンポジウム費	15,299,000	13,236,978	2,062,022
電気規格調査会費	15,400,000	10,957,871	4,442,129
支部交付金	26,000,000	25,787,096	212,904
部門費	8,170,000	5,858,254	2,311,746
賞金費	4,300,000	3,243,129	1,056,871
集金費	11,150,000	9,676,461	1,473,539
その他事業費	10,000	57,120	△ 47,120
2 管理費	393,620,000	396,307,024	△ 2,687,024
人件費	280,000,000	284,264,522	△ 4,264,522
事務費	55,420,000	54,779,417	640,583
事務所費	58,200,000	57,263,085	936,915
3 固定資産取得支出	0	1,112,788	△ 1,112,788
什器備品購入支出	0	1,112,788	△ 1,112,788
4 特定預金支出	30,000,000	88,373,244	△ 58,373,244
退職給付引当預金支出他	30,000,000	88,373,244	△ 58,373,244
5 予備費	10,000,000	0	10,000,000
予備費	10,000,000	0	10,000,000
当期支出合計(C)	960,850,000	968,238,954	△ 7,388,954
当期収支差額(A-C)	20,512,000	16,211,820	4,300,180
次期繰越収支差額(B-C)	265,406,111	261,105,931	4,300,180

平成14年度一般会計事業収入比率



平成14年度一般会計事業支出比率





正味財産増減計算書

平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	16,211,820	
什器備品購入額	1,112,788	
投資有価証券増加額	7,546,500	
商品増加額	7,375,674	
退職給付引当預金増加額	88,373,106	
特定事業積立預金増加額	138	
2 負債減少額		
退職給付引当金取崩額	67,825,969	67,825,969
増加額合計		188,445,995
II 減少の部		
1 資産減少額		
信託預金減少額	39,011,785	
長期貸付金減少額	2,124,376	
什器備品減価償却額	5,774,855	
ソフトウェア減価償却額	2,651,565	
退職給付引当預金取崩額	46,371,537	95,934,118
2 負債増加額		
退職給付引当金繰入額	25,799,260	25,799,260
減少額合計		121,733,378
当期正味財産増加額		66,712,617
前期繰越正味財産額		509,050,531
期末正味財産合計額		575,763,148

貸借対照表

平成 15 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	394,144,048	
未収金	130,080,655	
商品	133,870,222	
立替金	981,623	
その他流動資産	20,535,640	
流動資産合計		679,612,188
2 固定資産		
基本財産		
預金	20,000,000	
基本財産合計	20,000,000	
その他の固定資産		
什器備品	19,889,840	
ソフトウェア	5,133,750	
電話加入権	385,252	
敷金	32,470,200	
信託預金	15,000,000	
投資有価証券	75,521,700	
退職給付引当預金	159,512,870	
特定事業資金積立預金	12,833,086	
その他の固定資産合計	320,746,698	
固定資産合計		340,746,698
資産合計		1,020,358,886
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	42,239,856	
未払消費税等	2,500,000	
未払法人税等	3,426,697	
前受金	190,371,566	
預り金	12,350,585	
その他流動負債	33,747,331	
流動負債合計		284,636,035
2 固定負債		
退職給付引当金	159,959,703	
固定負債合計		159,959,703
負債合計		444,595,738
正味財産の部		
1 正味財産		
(うち基本金)		575,763,148
(うち当期正味財産増加額)		(20,000,000)
(うち前期繰越正味財産)		(66,712,617)
正味財産合計		575,763,148
負債及び正味財産合計		1,020,358,886

平成 14 年度特別会計

収支計算書

平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差 異(A-B)
I 収入の部			
1 事業収入	7,264,000	4,841,055	2,422,945
賞金資金利息	84,000	75,389	8,611
桜井資金利息	1,000,000	1,159,769	△ 159,769
国際交流基金利息	500,000	256,772	243,228
学術振興基金利息	900,000	693,058	206,942
拡充整備資金利息等	4,750,000	2,639,321	2,110,679
OA 化資金利息	30,000	16,746	13,254
2 信託預金償還収入	0	2,328,215	△ 2,328,215
信託預金償還収入	0	2,328,215	△ 2,328,215
当期収入合計(A)	7,264,000	7,169,270	94,730
前期繰越収支差額	35,460,723	35,460,723	0
収入合計(B)	42,724,723	42,629,993	94,730
II 支出の部			
1 事業費	3,100,000	6,152,278	△ 3,052,278
国際会議補助金支出	1,200,000	2,200,000	△ 1,000,000
学術振興基金事務費	900,000	742,492	157,508
拡充整備費等	1,000,000	3,209,786	△ 2,209,786
当期支出合計(C)	3,100,000	6,152,278	△ 3,052,278
当期収支差額(A-C)	4,164,000	1,016,992	3,147,008
次期繰越収支差額(B-C)	39,624,723	36,477,715	3,147,008

〈基金・資金別収支計算書〉

(単位：円)

区分	収入(A)	支出(B)	収支差額(A-B)
賞金資金利子	75,389	0	75,389
桜井資金利子	1,159,769	1,450,000	△ 290,231
寄付金利子計	1,235,158	1,450,000	△ 214,842
国際交流基金	256,772	750,000	△ 493,228
学術振興基金	693,058	742,492	△ 49,434
拡充整備資金	2,639,321	3,209,786	△ 570,465
OA 化資金利子	16,746	0	16,746
百周年運用収入計	3,605,897	4,702,278	△ 1,096,381
その他	2,328,215	0	2,328,215
総 合 計	7,169,270	6,152,278	1,016,992

正味財産増減計算書

平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	1,016,992	1,016,992
増加額合計		1,016,992
II 減少の部		
1 資産減少額		
百周年記念資産(建物)減価償却額	506,372	
信託預金減少額	2,328,215	2,834,587
減少額合計		2,834,587
当期正味財産減少額		1,817,595
前期繰越正味財産額		989,428,355
期末正味財産合計額		987,610,760

貸借対照表

平成 15 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	37,459,338	
流動資産合計		37,459,338
2 固定資産		
その他の固定資産		
投資有価証券	9,728,215	
百周年記念資産	897,874,225	
信託預金	43,530,605	
その他の固定資産合計	951,133,045	
固定資産合計		951,133,045
資産合計		988,592,383
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	981,623	
流動負債合計		981,623
負債合計		981,623
正味財産の部		
正味財産		987,610,760
(うち当期正味財産減少額)		(1,817,595)
正味財産合計		987,610,760
負債及び正味財産合計		988,592,383

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
総平均法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却について  
定額法
- (3) 引当金の計上基準について  
退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、退職一時金については法人負担期末自己都合退職要支給額、企業年金については年金財政計算における責任準備金の金額から年金資産の金額を控除した金額を計上している。
- (4) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、その他流動資産、未払金、未払消費税等、未払法人税等、前受金、預り金、及びその他流動負債を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
預 金	20,000,000	0	0	20,000,000
合計(基本金)	20,000,000	0	0	20,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(1) 一般会計

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	407,855,562	394,144,048
未 収 金	127,153,406	130,080,655
立 替 金	570,478	981,623
その他流動資産	16,589,935	20,535,640
合 計	552,169,381	545,741,966
未 払 金	43,384,392	42,239,856
未 払 消 費 税 等	1,950,000	2,500,000
未 払 法 人 税 等	8,201,797	3,426,697
前 受 金	203,410,284	190,371,566
預 り 金	8,632,756	12,350,585
その他流動負債	41,696,041	33,747,331
合 計	307,275,270	284,636,035
次期繰越収支差額	244,894,111	-261,105,931

(2) 特別会計

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	38,248,361	37,459,338
仮 払 金	750,000	0
合 計	38,998,361	37,459,338
未 払 金	570,478	981,623
預 り 金	2,536,660	0
前 受 金	430,500	0
合 計	3,537,638	981,623
次期繰越収支差額	35,460,723	36,477,715

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
<一般会計>什器備品	38,915,098	19,025,258	19,889,840
<一般会計>ソフトウェア	13,257,825	8,124,075	5,133,750
<特別会計>百周年記念資産(建物)	28,131,763	2,936,955	25,194,808
合 計	80,304,686	30,086,288	50,218,398

平成14年度 支部  
収支計算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

(単位：円)

	支部合計	北海道	東北	東京	北陸	東海	関西	中国	四国	九州
<b>【収入の部】</b>										
1 事業収入	9,603,858	77,700	0	5,613,009	213,700	664,100	2,934,549	100,800	0	0
研究調査収入	6,078,489	77,700	0	2,837,500	23,000	664,100	2,375,389	100,800	0	0
大会収入	2,640,185	0	0	2,640,185	0	0	0	0	0	0
セミナー・シンポジウム収入	885,184	0	0	135,324	190,700	0	559,160	0	0	0
2 交付金等収入	32,819,335	1,451,000	2,465,000	8,220,000	1,563,778	6,586,356	6,787,001	1,748,000	1,424,000	2,574,200
交付金収入	30,080,978	1,451,000	2,465,000	8,200,000	1,563,778	4,908,000	5,747,000	1,748,000	1,424,000	2,574,200
民間補助金収入	1,535,000	0	0	0	0	1,535,000	0	0	0	0
その他補助金	1,203,357	0	0	20,000	0	143,356	1,040,001	0	0	0
3 その他収入	814,808	7	81	7,642	14	122	432,356	344,519	23	30,044
受取利息	23,012	7	81	2,351	14	122	20,306	64	23	44
雑収入	791,796	0	0	5,291	0	0	412,050	344,455	0	30,000
収入計(A)	43,238,001	1,528,707	2,465,081	13,840,651	1,777,492	7,250,578	10,153,906	2,193,319	1,424,023	2,604,244
前期繰越収支差額	28,336,597	572,341	1,205,843	14,475,329	219,137	4,540,589	1,526,109	3,524,048	396,851	1,876,350
当期収入計(B)	71,574,598	2,101,048	3,670,924	28,315,980	1,996,629	11,791,167	11,680,015	5,717,367	1,820,874	4,480,594
<b>【支出の部】</b>										
1 事業費	23,763,664	517,719	1,647,491	10,802,746	1,140,436	2,416,527	4,179,972	1,208,026	322,310	1,528,437
研究調査会費	10,858,485	356,564	752,148	3,806,735	439,484	1,139,949	3,157,918	465,150	94,306	646,231
支部大会費	3,303,489	0	80,179	3,173,310	0	0	0	0	0	50,000
連合大会費	1,422,867	100,000	130,000	0	180,000	111,367	305,580	315,920	100,000	180,000
セミナー・シンポジウム支出	3,152,026	20,315	85,554	331,141	514,988	1,165,211	637,724	312,650	50,000	34,443
賞金・表彰費	817,272	40,840	29,610	191,560	5,964	0	78,750	74,781	78,004	317,763
交付金支出	4,209,525	0	570,000	3,300,000	0	0	0	39,525	0	300,000
2 管理費	17,737,381	994,397	700,319	2,693,255	206,089	4,031,894	6,158,649	1,101,137	831,415	1,020,226
諸経費	16,390,111	594,397	700,319	2,194,072	206,089	4,013,807	6,158,649	1,101,137	831,415	590,226
人件費	1,347,270	400,000	0	499,183	0	18,087	0	0	0	430,000
3 予備費	129,229	0	0	129,229	0	0	0	0	0	0
予備費	129,229	0	0	129,229	0	0	0	0	0	0
支出計(C)	41,630,274	1,512,116	2,347,810	13,625,230	1,346,525	6,448,421	10,338,621	2,309,163	1,153,725	2,548,663
収支差額(A-C)	1,607,727	16,591	117,271	215,421	430,967	802,157	△184,715	△115,844	270,298	55,581
次期繰越収支差額(B-C)	29,944,324	588,932	1,323,114	14,690,750	650,104	5,342,746	1,341,394	3,408,204	667,149	1,931,931

貸借対照表

平成15年3月31日現在

	支部合計	北海道	東北	東京	北陸	東海	関西	中国	四国	九州
<b>(資産の部)</b>										
現預金	30,072,324	588,932	1,534,640	14,699,410	702,396	5,342,746	1,071,394	3,408,204	667,149	2,057,453
未収入金	270,000	0	0	0	0	0	270,000	0	0	0
資産計	30,342,324	588,932	1,534,640	14,699,410	702,396	5,342,746	1,341,394	3,408,204	667,149	2,057,453
<b>(負債の部)</b>										
未払金	271,040	0	150,000	0	52,292	0	0	0	0	68,748
預かり金	126,960	0	61,526	8,660	0	0	0	0	0	56,774
負債計	398,000	0	211,526	8,660	52,292	0	0	0	0	125,522
正味財産	29,944,324	588,932	1,323,114	14,690,750	650,104	5,342,746	1,341,394	3,408,204	667,149	1,931,931
負債及び正味財産合計	30,342,324	588,932	1,534,640	14,699,410	702,396	5,342,746	1,341,394	3,408,204	667,149	2,057,453

\*

\*

\*